亘理町立小・中学校教育環境整備計画検討委員会

アンケート調査結果と分析及び考察

教育環境整備計画検討委員会アンケート調査結果と分析及び考察

＜アンケート調査等の概要＞

調査期間：令和３年１月５日～１月２０日

調査対象者：①町立小中学校に在籍する児童生徒の保護者の方々
②①以外で亘理町に住民票を有する児童生徒の保護者の方々
③未就学児の保護者の方々
計　４，０３４人

回 収 率：　２，９８５人回収　回収率　７４．０％

＜本稿に係る共通理解項目＞

ブロック：各小学校未就学児童の保護者（令和２年度）「(亘未)（荒未）（吉未）（長未）（逢未）(高未)」の計６ブロック，各小学校に在籍している児童の保護者（令和２年度）「(亘籍)（荒籍）（吉籍）（長籍）（逢籍）（高籍）の計６ブロック」，各中学校の保護者（令和２年度）「(亘中)（荒中）（吉中）（逢中）の計４ブロック」。合計１６ブロックの意味である。

保 護 者：本調査の対象となった保護者全員のことである。

Ⅰ　アンケート調査の結果

１　望ましい学級数

１６のいずれのブロックでも，【１学年複数学級の学年編制】が望ましいと回答している。２～３学級編制，４～５学級編制と区分を分けなければ，８割から９割の保護者がそれを望ましいと回答している。また，小学校においても中学校においても，２～３学級編制をより望ましいと回答している。

小学校の望ましい学級編制について，最も高い割合を示したのは，吉田小学校未就学のブロックで，２～３の学級編制が望ましいと回答した割合は８３％となっている。

中学校の望ましい学級編制において，最も高い割合を示したのは，荒浜小学校未就学のブロックで，２～３の学級編制が望ましいと回答した割合は８３％となっている。

２　人数（児童生徒数・学級数）の多い学校の良い点

４つのブロックを除いて，残り１２のブロックで選択された項目は，

〇切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい環境である。
〇人間関係の幅が広がる。
〇大勢で様々な活動ができる。

の３項目である。この中で最も選択された割合が高いのが，人間関係の幅が広がるである。保護者にとって，子どもの人間関係（友達関係）に敏感になっていることがうかがえる。

3　人数（児童生徒数・学級数）の多い学校の良くない点

１６のブロックいずれも次の３項目が高い割合で選択されている。

〇問題が生じた場合教師が気付かない。

〇細かい指導が行き届きにくい。

〇一人一人の活躍の場が少ない。

この中でも，【問題が生じた場合教師が気付かない】と【細かい指導が行き届きにくい】の２つの項目の選択の割合が高くなっている。

4　人数（児童生徒数・学級数）の少ない学校の良い点

１６ブロック中１５ブロックが同じ３項目を選択している割合が高い。

〇先生の目が行き届きやすくきめ細やかな指導（個別指導）がしやすい。

〇全員で団結や協力がしやすい。

〇個々の活動の場が増え，責任感が育てやすい。

この３項目の中で選択される割合が高かったのは【先生の目が行き届きやすく，きめ細やかな指導がしやすい】である。

5　人数（児童生徒数・学級数）の少ない学校の良くない点

１２ブロックで同じ３項目を選択する割合が高かった。

〇友達関係がいつも同じで友人間に序列ができる。

〇多様な考え方に触れる機会が少ない。

〇ＰＴＡ活動において保護者への負担が大きい。

この３項目の中で,【友達関係がいつも同じ】という項目と【ＰＴＡに関わる保護者の負担】の項目は，同程度で選択されている。

6　学級数や学級の人数が減ることの影響

この設問はブロックでの選択にばらつきが見られた。９ブロックは以下の項目を高い割合で選択している。

〇一人一人が担う部分が多くなるため，工夫・協力し合うことを学び，やりがいや責任感が生まれることが期待できる。

〇子どもの人数が減ることで，かえって一人一人の個性や特性に応じたきめ細やかで丁寧な指導が期待できる。

〇人間関係が固定化・序列化する恐れや，学級の中で人間関係が破綻した場合，学級編制による回避ができないことが不安である。

この３項目は同程度の割合で選択されている。

単学級編制の中学校では，【団体競技の種類・内容が制限されることが不安である】の項目の選択が高くなっている。荒浜小学校在籍及び長瀞小学校在籍の２つブロックでも同じ傾向にある。

７　児童数減少に伴う今後の対応

選択項目は４つである。この中で【学校を再編・統合し適正な児童数を確保する】項目を選択した割合が半数を超えるのは１０ブロックで，特に高い割合を示したのは，吉田小未就学ブロック（７２％），吉田中学校ブロック（６５％）である。

一方，【現状のままで良い】と回答した割合はおよそ３４％である。最も高いのは，荒浜小学校在籍ブロックの５３％である。最も低いのは長瀞小学校在籍ブロックの２１％である。

その他の意見の中には，【一学級当たりの人数を減らして複数学級編制をする】【学区の見直し】を記入する保護者が多く見られた。

８　児童数減少にあっても現在の学校数のままでよい理由（現状のままと回答した保護者対象）

１６ブロックすべてにおいて【不都合はない】の項目の選択割合が高い。また，【地域の協力が得やすく郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動の展開】も比較的選択の割合が高い。

９　小学校の再編・統合の目途（小学校の再編・統合を選択した保護者対象）

２～４年，５～９年の項目の選択の割合にそれほど差は見られない。一方，亘理小学校の２つのブロックと逢隈小学校の２つのブロックは，いずれも２～４年の項目を選択する割合が２０％台である。２～４年の項目の選択率が高かったのは長瀞小学校未就学ブロックの７０％である。

１０　生徒数減少に伴う今後の対応

約５３％の割合で学校の再編・統合を選択している。特にこの割合が高かったのは，長瀞小学校ブロック（特に在籍ブロックは７２％）と吉田中学校ブロック（７８％）である。１６ブロック中４ブロックが学校再編・統合の項目の選択割合が５０％に届いていない。

一方，現在のままで良いとの回答割合は約２９％である。

その他の意見としては，【一学級の人数を減らして学級数の確保】【特色を持たせて選択できるようにする】【学区の見直し】等がある。

１１　生徒数減少にあっても現在の学校数のままでよい理由（現状のままと回答した保護者対象）

１６ブロックすべてにおいて【不都合はない】の項目の選択割合が高い。小学校に見られた【地域の協力が得やすく郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動の展開】の選択割合は，小学校に比べて低くなっている。また，【複式になっても学び合う活動はできる】の項目の選択割合は低くなっている。

１２　中学校の再編・統合の目途（中学校の再編・統合を選択した保護者対象）

２～４年がおよそ３９％，５～９年がおよそ４５％と，小学校の再編・統合の時期よりも明らかに差がみられる。ここでも長瀞小学校の２つのブロックと吉田中学校ブロックは２～４年の項目の選択割が高くなっている。特に長瀞小学校未就学ブロックは７２％と非常に高い。

１３　学校の適正規模・適正配置に係る配慮事項

１６ブロック中９ブロックでは３つの項目の選択率が高い。

〇適正な児童生徒数・学級数の確保

〇児童生徒の通学とその安全の確保

〇小中学校９年間を見通した一貫教育の推進

特に児童生徒の通学とその安全の項目を選択した割合は，いずれのブロックでも４０％以上の選択率で，保護者の関心がここにあることがうかがわれる。

【小中学校９年間を見通した一貫教育の推進】と同様に選択の割合が高かったが【校舎の施設整備】で６ブロックが一貫教育の推進と入れ替わっている。

Ⅱ アンケート調査結果の分析

① 保護者が考える望ましい一学年での学級数は，その数は別にして一学年複数学級である。これは小学校，中学校の別を問わない。

② 保護者は一学年複数学級の学校の良さとして，子どもの人間関係の幅が広がることと捉えている。一方で，教師の目が自分の子どもを含め一人一人に届きにくく，問題把握に時間がかかることや細やかな指導が行き届かないことを懸念している。

③ 保護者は一学年一学級の学校（一学級の数も少ない学級）の良さとして，教師の目の届きやすさや，きめ細やかな指導の実現を挙げている。一方，友達関係が限られること，そしてＰＴＡ活動の負担が大きいことを欠点として挙げている。

④ 児童生徒数や学級数の減少の問題として，自分の子どもに対する細やかな指導の可能性というプラスの面の評価と，子どもたちの人間関係の固定化・序列化とその回避というマイナス面の評価を同時にしている。

⑤ 現状の学校数か再編・統廃合かについて，小学校では「統合・再編＞現状のまま＞学区再編成等その他」の順番となっている。望ましいのは一学年複数学級の学校ではあり，児童数減少は避けられない局面であるけれども，現状のままで良いとする保護者が一定割合存在する。

⑥ 中学校においても「再編･統合＞現状のまま＞学区再編成等その他」の順番になっている。しかしその様相は小学校とは違っている。再編・統合の理由として「団体競技の種類・内容が制限されることが不安である」と挙げている。荒浜中学校ブロックと吉田中学校ブロック，及び荒浜小学校の２つのブロックと長瀞小学校の２つのブロックではこの傾向が如実に表れている。

⑦ 再編・統合を進める場合の留意点は，何といっても通学のための足の確保であり，これに保護者の負担を伴わない取組が必要になる。

Ⅲ 保護者コメントの分類

※ 件数は，全ての自由意見の中で内容が同じと考えられるものをまとめたものである。
ブロックの表示はその意見が記載されていたブロックを表す。

① 小学校（中学校も併せて）における一つの学年の学級数に係る自由記述

○２５～３０人程度で学級編制をする。一学級の人数を減らす。少人数の方が良い。
１６件（亘未）（亘籍）（荒籍）（吉籍）（逢未）（逢籍）（高未）（亘中）（逢中）

○児童生徒数により学級編制をする。　８件
（亘籍）（逢未）（逢籍）（高籍）（亘中）（荒中）（逢中）

○学級数よりも一クラス当たりの児童生徒数が重要だ。学級数は気にならない。６件
（亘籍）（長籍）（高未）（高籍）（亘中）

○一学年一学級以外なら良い。　２件（逢籍）（亘中）

○適切な学級数の基準は難しい。望ましい基準はない。　２件（荒中）（吉中）

○地域に合った学級編制をする。　１件（高未）

② 一定規模（人数の多い）学校の「よい」と感じる点（小・中一緒）に係る自由記述

○人間関係，いじめ，合わない子ども等の時にクラスを離すことができる。　４件
（亘未）（逢籍）（逢中）

○多様な考え（多様な人等）に触れ社会性を身に付けられる。　３件
（亘未）（逢未）（逢籍）

○人数の多い学校（高校等）に進学したときに順応しやすい　２件（亘未）（亘籍）

○ＰＴＡに係る親の負担が少ない。　２件（亘籍）（亘中）

○中学校にあっては部活動の選択肢が多い。　７件（亘未）（長籍）（逢籍）（亘中）（逢中）

○教員の数が多くなり多くの教員の教育力が発揮される。　１件（亘未）

○子どもの行動の悪目立ちがなく個性を大勢の中で受け入れやすくなる。　２件
（亘未）（亘籍）

○自分が少人数の中で過ごしてきたので人数の多い学校の良さが分からない。　３件
（荒籍）

○児童生徒の多い少ないではなく教員によるところが大きい。　１件（逢未）

③ 一定規模（人数の多い）学校の「よくない」と感じる点（小・中一緒）に係る自由記述

○いじめが起りやすい（起こりやすそう）。いじめを見つけにくい。　１２件
（亘籍）（荒未）（荒籍）（逢未）（逢籍）（高未）（荒中）（逢中）

○授業に遅れている子どもが放置される。学習のフォローができない。　２件
（亘未）（逢中）

○教師の業務量が増えて個別の指導（生徒指導等）ができない。　３件
（亘籍）（逢籍）（亘中）

○行事の時の場所取りや駐車場が大変。　２件（亘籍）（亘中）
○ＰＴＡ役員がなかなか決まらない。決まっても責任をもってやらない。　４件（逢未）（亘中）（逢中）
○言葉遣いの悪い子，乱暴な子，思いやりがない子が増えて悪影響を及ぼす。　１件（逢籍）
○教師がいじめを見ないふりができる。　１件（逢籍）

④ 小規模（人数の少ない）学校の「よい」と感じる点（小・中一緒）に係る自由記述

○縦割り活動でリーダーシップを育むことができる。　３件（長籍）（高籍）（亘中）
○教員に余裕ができその余裕が子どもの指導に生かされる。　２件（亘未）（高籍）
○図書館，体育館，校庭の利用に余裕がある。　１件（亘未）
○いじめが見つけやすい。　１件（逢籍）
○人間関係問題が大きくなりずらい。多勢に無勢になりにくい。　２件（逢籍）（逢中）

⑤ 小規模（人数の少ない）学校の「よくない」と感じる点（小・中一緒）に係る自由記述

○部活動の種類が少ない。スポ少でやっていた種目の部活動がない。　６件（荒籍）（長未）（長籍）（逢籍）（荒中）
○人数の多い学校（高校）に進学した時に大変。　４件（亘未）（亘籍）（逢籍）（亘中）
○友達関係が心配。同性が少ない。苦手な子とずっと一緒。　３件（吉未）（長籍）（亘中）
○いじめが発生しやすい。友達に引きずられる。かえってわがままになる。　３件（亘未）（逢籍）（亘中）
○悪目立ちする。生徒指導の問題を抱える子がいると評判が下がる。　３件（吉籍）（高籍）（逢中）
○教師や校長の方針に影響を受けやすくなる。　２件（亘未）（長籍）
○ＰＴＡ活動が大変。　２件（吉籍）（長未）
○活躍の場は増えるがかえって協調性が育たない。　１件（逢未）
○集団スポーツができない。　１件（高籍）

⑥ 学級数や学級の人数が減ることの影響（小・中一緒）に係る自由記述

○部活動の選択肢が減る。やりたい部活動ができない。　５件（亘未）（長籍）（逢籍）（亘中）（逢中）
○人間関係の硬直化。人間関係の幅が薄い。コミュニケーションが育たない。　５件（亘未）（亘中）（逢未）（逢中）
○複式学級が不安。専門の教員が配置されない。　３件（亘中）（荒中）（吉中）
○人数の少ない学校の維持が大変。　２件（逢未）（逢中）
○生徒数が減れば教師も減り結果的に手薄になる。　２件（亘未）（逢未）
○学級が少人数になり，逆に良いことだ。　３件（荒籍）（高未）（高籍）
○行事が見直しを求められる。種目が限られる。　２件（長籍）（逢籍）

○子供会の維持が大変。　１件（逢籍）
○デメリットが多い。(問題の固定化・できる子のみ目立つ。　３件（亘未）(長未）(逢籍）
○生徒の減少等は問題ではない。教員のスキルの問題。　１件（逢籍）
○学区の見直し。スクールバス。行きたい学校へ通学。　３件（亘籍）(逢中）
○人数が少ない学校は周囲からかわいそうに見られる。　１件（長未）
○児童生徒数が減ることは自治体の魅力が低いから。　１件（亘未）

⑦ 小学校の児童数が今後さらに減少するがどのようにすべきかに係る自由記述

○子育てしやすい環境づくり。定住人口増加への取組。　１０件（亘未）(荒未）(荒籍）
○町内であれば行きたい学校に行けるようにする。　４件（亘未）(逢未）(逢籍）(吉中）
○学区を再編統合し適切な児童数にする。インフラ整備して再編・統合する。　８件
（亘未）(荒未）(吉未）(荒籍）(亘中）(逢中）
○地区ごとに１校。児童数が多い学校を分散させる。　２件（逢未）(逢中）
○一学級当たりの人数を減らす。　２件（亘未）
○極端に減らなければ現在のままで良い。　小学校は難しい。　５件
（長未）(逢籍）(逢中）
○統合になると通学するのが大変になる。　３件（亘籍）(逢籍）

⑧ 適正な規模を確保できない場合でも現在の学校数（小学校）でよいに係る自由記述

○統合すると通学の不安・不便。送り迎えが大変になる。　２３件
（亘未）(荒未）(長未）(逢未）(逢籍）(亘中）
○小学校は地域とのつながりが深い。地域から子どもがいなくなる。　２件（亘未）
○現在の学区のままなら統合賛成。　２件（長未）
○小規模は目が届いていい。　１件（吉中）
○母校が廃校になるのは寂しい。　１件（逢籍）
○一学級の人数を減らして学級数は減らさない。　１件（逢籍）
○受け皿として小規模特認校は必要である。　２件（高籍）(亘中）

⑨ 中学校の児童数が今後さらに減少するがどのようにすべきかに係る自由記述

○町内で行きたい学校に行けるようにする。　４件（亘未）(逢籍）(高籍）(逢中）
○学区の見直し。近い学校に行けるようにする。　８件
（亘籍）(荒未）(荒籍）(吉未）(高籍）(逢中）
○統合すると通学が大変になる。送り迎えが大変。　３件（逢籍）(吉中）
○生徒数確保のために統合すべき。インフラ整備をして統合する。　３件
（荒籍）(吉未）(亘中）
○一学級の人数を減らして学級数は減らさない。　３件（亘未）(亘籍）
○部活動だけは合同チームで。　１件（荒籍）
○生徒数を均一にしてほしい。　１件（逢籍）

○子育てしやすい環境をつくる。　１件（亘未）
○極端に減らなければ現状で。　１件（逢籍）
○人数の問題ではない。学習の質の問題。　１件（逢籍）

⑩ 適正な規模を確保できない場合でも現在の学校数（中学校）でよいに係る自由記述

○統合すると通学が大変。通学が心配。事故が増える。　１５件
（亘未）（亘籍）（荒籍）（吉籍）（長籍）（逢籍）（逢中）
○特色を残すなら現在のまま。極端に減らなければ現在のまま。　２件（逢籍）（高籍）
○人数が増えるときめ細やか指導ができない。いじめが増える。　２件（逢籍）（高籍）
○荒中は建替えしたばかりでもったいない。　１件（亘中）
○学区を再編し均一の人数にする。亘理中を中心部にもってくる。　２件（高未）（亘中）
○どの学校にも行けるようにする。　１件（荒籍）
○部活動だけは合同チームで。　１件（吉中）
○中学校は小学校に比べて学校が多いわけではない。　１件（亘籍）
○小規模特認校を利用したい。　１件（亘未）

⑪ 学校の適性規模・適正配置で配慮すべき事項に係る由記述

○統廃合を進めていく。複数学級が必要。教師の数が確保できなければ統廃合。　６件
（亘未）（逢未）（逢籍）（逢中）
○質の高い教員の確保。　３件（逢籍）
○学区の見直し。距離の近い学校へ。学校を選択できるように。　４件
（荒未）（吉未）（逢未）（逢籍）
○生徒数に偏りがありすぎる。　２件（高籍）（亘中）
○一学級２０人で学級編制をする。　２件（逢籍）
○小規模特認校は残す。　２件（亘未）（逢中）
○子どもと大人の負担感がないように。子どものことを考えて検討する。　２件
（亘未）（吉中）
○現状で。　１件（吉中）

⑫ 亘理町立学校の再編に係る自由記述

※自由意見欄には多くの意見が寄せられた。傾向をつかむために，便宜上いくつかのブロックに分けた。

○町づくりに関する記述

・子育てしやすい町づくりのビジョンを。人口拡大の取組を。　１９件　８ブロック
・もっと早くから取り組むべき問題だった。　１件（亘中）
・２０年も前から分かっていたこと。すぐにでも検討しよい結果を。　３件
（亘中）（吉中）

・今回の調査で初めて問題意識を持った。　１件（長籍）
・そもそも震災の時に考えるべき問題ではなかったか。　１件（亘未）
・町の考え方を早く示してほしい。　１件（長未）

○再編・統合（賛成・仕方ない・条件付き）に係る記述

・人口減及び財政面から統廃合は必要である。　３件　（吉中）
・十分な議論の下に早期に推進すべきである。　７件（長未）（亘中）（吉中）（逢中）
・いずれ統合しなければならない時がくる。　４件　（長未）（逢未）（逢中）
・学校が多すぎる。すぐに統合を。クラス替えができないのは困る。　４件（亘中）（長籍）
・他市町では進めている。亘理は遅れている。統合の方向で。　３件（長未）（吉未）（亘中）
・他市町を参考に慎重に進めてほしい。　１件（亘中）
・安心して学べる環境を。そのための統合は仕方ない。　４件（亘未）（亘籍）（荒籍）
・地域の子どもが少ない。統合は必要である。　２件（亘未）（荒未）
・高校はどこも大規模。再編統合を望む。　１件（長籍）
・教員の負担軽減や財政面からも再編は急ぐべきだ。　１件（逢籍）
・小学校は地域に。中学校は統合を希望する。　２件（逢籍）（荒中）
・人口減や施設の老朽化を考えると統合は仕方ない。　１件（逢籍）
・施設のランニングコストを考えると統合がベスト。　１件（亘中）
・統合ならばスクールバスの措置が必要。　４９件　１４ブロック
・統合は仕方ない。様々なバックアップが必要。　１３件（逢籍）（亘中）（逢中）
・部活動は大きい学校に負ける。統廃合は必要である。　２件（亘籍）（長籍）
・部活を考えると早期の再編を望む。　４件（長未）（長籍）（亘中）（吉中）
・友達関係の序列は規模に関係しない。統廃合して安心な学校を。　１件（逢未）
・生徒数のバランスを見て統廃合を。　１件（亘中）
・安全な通学が可能ならば統合・再編も仕方がない。　２件（長籍）（逢未）
・統廃合は仕方ないが廃校等の活用や町づくりに期待。　２件（逢未）（荒中）
・人数が少ない現状から統合すべきで，まずは中学校を２校にする。　１件（亘中）
・時代に合った再編又は改革を大胆に実行することを望む。　１件（高籍）
・新しい学校と古い学校が顕在している。統合は待ったなし。　１件（亘中）
・ある程度同じ規模になるなら再編・統合に取り組んでほしい。　１件（亘中）
・学校再編・統合は課題を出し合って進めていくべき。　２件（高籍）（亘中）
・ＰＴＡの負担を考えると統廃合を進める。３件（長籍）（吉未）（吉籍）
・習い事の関係で引っ越してきた。今の学区で統合を。　２件（逢未）
・通学距離が長い子どもがいる。再編を。　１件（吉籍）
・統廃合を行うことで教員の配置がしっかりできる。　１件（逢中）
・統合して学校の施設維持経費を減らして他に回す。　１件（亘未）

○学区の再編に係る意見

・学区再編によるある程度の人数確保は必要である。　２件（吉籍）（長未）

・学区の見直しと再編を。　１７件

（亘未）（荒未）（吉未）（長籍）（逢籍）（高籍）（亘中）（荒中）（吉中）

・学区がおかしい。学区の見直しから始めるべき。　１件（長未）

・学区の再編は通学等で負担が生じる。簡単に進めないでほしい。　１件（亘未）

・学区の再編は必要だが，いじめ等があった場合は柔軟に。　５件

（亘未）（長籍）（逢未）（逢籍）

・再編して学力が向上し学校生活が充実すればよい。　１件（逢籍）

・中学校の通学区域の見直しは早急に実施すべき。　１件（逢籍）

・再編及び統合は通学が心配される。親の負担が増す。　２件（高籍）（亘中）

・再編は必要だが学校数はそのままで。　１件（吉中）

・小学校はいいが中学校は学区の再編を。　１件（逢中）

・小学校と中学校の学区は同じにする。　１件（逢中）

・震災後，校舎を建て直す必要があったのか。学区の再編を。　１件（吉中）

○部活動に係る意見

・部活動に差がありすぎる。好きな部活動を選べない。　１２件

（長未）（長籍）（亘中）（荒中）（吉中）

・部活動の減少で体力が心配される。　１件（長未）

・あまりにも人数が減ると部活動ができないことが心配される。　１件（亘未）

・やりたくもない部活動に全員加入はおかしい。　１件（逢籍）

・統合して子どもに部活動の選択肢を与えたい。　２件（荒籍）（吉籍）

・今の複数の学校での合同部活動をなんとかしてほしい。　３件（荒籍）（吉籍）（長籍）

○町内いずれの学校にでも行けるようにすることに係る意見

・町内どこの学校にも行くことができるようにする。　１５件

（亘未）（吉籍）（逢未）（亘中）（逢中）（逢籍）（高未）（吉中）

・特色のある学校づくりを進めて学校を選ぶ。　１件（逢籍）

・共働きなので職場に近い学校を選択したい。　１件（亘未）

○小中一貫校に係る意見

・町内に小中一貫校を。　１２件

（亘未）（亘籍）（荒未）（逢籍）（高籍）（亘中）（荒中）（逢中）

・役場近くに小中一貫校ができるといい。　２件（高未）

○学級の人数を減らす・少なくすることに係る意見

・一学級の人数を減らすべき。余裕のある環境に。　６件（亘未）（亘籍）（荒籍）（逢未）

・再編に当たっては町独自で２５人以下の学級編制を。　１件（亘中）
・一クラス３０人以上では教員の目が行き届かない。　２件（逢未）（逢籍）
・一クラス１０人以下になる小学校は統合を。　２件（吉未）
・一学級の児童生徒数が減ればきめ細やかな指導ができる。　１件（逢籍）
・町独自の学級編制等独自色を打ち出す。　１件（亘籍）
・学校間の交流を多くすれば少人数はカバーできる。　２件（荒籍）（長未）

○偏りや人数に違いがあることに係る意見

・学校によって人数（一学級の人数を含む）に違いがありすぎる。　６件（亘未）（吉未）（長籍）（逢未）（亘中）
・中心部とそれ以外で偏りが大きすぎる。中心部から分散させる。　２件（吉籍）（長未）
・各学校平均的な人数で学ぶことができるように。　６件（亘未）（亘籍）（亘中）
・人数の多いところから少ないところへ分散させる。　１件（吉未）
・地域によって差がありすぎる。これが学力や生徒指導に影響。　１件（長未）
・同じ税金を払っているのに学童保育等差がありすぎる。　１件（逢籍）
・偏りがあり不公平。部活動もその通り。　１件（逢籍）
・亘理中と逢隈中を分散させて平等に。　１件（吉中）
・差がありすぎる。小さい学校は統合を考えてもよい。　１件（吉中）
・亘理　荒浜　吉田　逢隈の４地区を平等に。　２件（吉中）
・生徒数を分散させて少人数で指導。　１件（長未）
・同じような生徒数の規模にする。　１件（逢未）

○学校再編・統合に係る具体的な提案の記述

・小中学校が各地区１校は必要ない。　１件（亘中）
・再編するにしても一ヵ所に集中するのは良くない。　１件（亘籍）
・児童数の少ない学校を統合すべき。　１件（荒未）
・小学校は地域密着なのでそのまま。中学校は偏りがないように調整。　２件（荒籍）（長籍）
・吉田と長瀞，荒浜と高屋を統合してバスを。　１件（逢未）
・逢隈（北部），亘理と吉田（南部），長瀞と荒浜（沿岸部）の３つにしてバスを。　１件（逢籍）
・小学校４校，中学校３校にして３０人学級編制で。　１件（逢未）
・小学校は２校，中学校も２校にして小中一貫教育を。　１件（逢籍）
・高屋小は荒浜小との統合もいいと考える。　１件（高未）
・高屋＋荒浜＋長瀞，荒中＋吉中がいいのではないか。　１件（荒中）
・吉田小と長瀞小が吉田中へ，荒浜小と高屋小が荒浜中へ。　１件（吉中）
・小中半分までがベストである。　１件（亘中）

○学校再編・統合に係る問題点の具体的な記述

・放課後の過ごし方が心配だ。居場所づくりを進めてほしい　３件（亘未）
・震災後に戻った。学校がなくなれば子育てが不便になる。　１件（亘未）
・再編統合すると通学が心配になる。　３件（逢未）（逢籍）（亘中）
・新しく建て直した沿岸部の学校はどうするのか。　１件（亘籍）
・統廃合するなら放課後児童クラブの充実も考えてほしい。　１件（亘籍）
・統廃合でスクールバスになると思う。運動不足が心配だ。　１件（荒未）
・統廃合により地域との関連が希薄になるのが心配だ。　２件（荒未）（吉籍）
・統廃合による子どもの心のケアが必要だ。　２件（荒籍）
・しがらみのある地区がある。子どものことを考えて再編を。　１件（吉籍）
・再編により人数が増えれば不登校が多くなる。　２件（高籍）（亘中）
・人数が増えればいじめが増えるのではないか。　１件（荒籍）
・人数が増えれば教師の目が行き届かないのではないか。　１件（荒籍）
・学校再編は地区の再編と切り離せない。　１件（亘中）
・年配方の仲たがいで再編統合ができないことは避けるべき。　１件（吉中）
・統合するとなじめない子どもがでてくるのではないか。　１件（逢未）
・統合して廃校すると増えた時に困る。今の状況で多いところを分散させる。　１件（逢未）
・もともと人数が多いところに他の学校からの合流はいかがなものか。　１件（亘中）
・子どもが満足していれば現状でいい。　２件（荒籍）

○今後の進め方に対する記述

・納得のいく説明をお願いしたい。公表をお願いしたい。　２件（亘未）
・統廃合はどちらでもよいが人間関係や学習に支障が出ないように。　１件（亘籍）
・時間をかけて環境整備をしていただきたい。　１件（荒籍）
・大人の都合ではなく子どものことを考えて慎重に。　２件（亘未）（逢未）
・子どもにとってよい環境づくりを。　１件（逢未）
・都市部との学力差も気になる。様々なところから環境整備を。２件（逢籍）（亘中）
・地域の方と意見交換できる場を作ってほしい。　１件（亘中）
・様々な角度から検討を。　２件（亘中）
・小中９年間で児童生徒に影響が少ないように考えて整備。　１件（逢籍）
・コストを明らかにしてくれれば統合の問題も考えやすい。　１件（亘中）
・再編で兄弟が別の学校に通うことのないように移行期間を設ける。　１件（亘中）

○少人数の良さに関する記述

・少人数の方が人として育てていく環境面ではよい。　１件（吉籍）
・小規模でも良いと感じている。　１件（逢未）
・新型コロナウイルスに対して小規模の方がよい。　３件（逢未）（逢籍）（亘中）

・人数が増えると一人一人に割く時間が減り学力が心配。　１件（逢籍）
・コロナが心配だしマンモス校と呼ばれないようにしてほしい。　１件（逢籍）
・多少の人数の変更は良いが多くなると大変。ストレスになる。　１件（逢籍）
・少人数の方が目が行き届いてよい。　１件（吉中）
・人数が多いと何かあったときに手が回らない。　１件（逢中）
・複式学級になってもメリットはある。　１件（逢中）

○少人数の良くない点に関する記述

・高校や社会人になったときに大変。ある程度の人数は必要。　１件（吉籍）
・単学級だと友達関係が変わらず不安。多くの子どもと触れ合える機会を。　２件（吉籍）
・ずっと一クラスだと友達関係の固定化などで不安しかない。　１件（長籍）
・教員の数が少ないと免許外指導がある。避けてほしい。２件（逢籍）（亘中）
・人数が少ないとＰＴＡが大変。　３件（荒中）（吉中）（逢籍）
・二クラスあればクラス替えができる。　２件（荒中）

○教員の質等に関する記述

・教員の質が大切だ。学校教育の充実を。　１１件（亘未）（亘籍）（荒籍）（吉未）（逢籍）（高籍）（亘中）（荒中）
・風通しの良い学校環境を。学校教育の充実を。　２件（亘未）（吉籍）
・特別支援教育の充実を。　１件（吉籍）
・教育レベルが塾に行かざるを得ない状況。教育レベルの向上を。　１件（逢籍）
・ＬＤ等通級教室の充実を。　１件（逢籍）
・教師と生徒の信頼関係。　１件（高未）
・生徒の数でなく学習内容に合った教員の配置を。　１件（亘中）
・学力の向上を期待する。学力が低い。なんとかして。　３件（亘籍）（逢籍）（吉中）
・不登校対策や生徒指導の充実を。　２件（逢中）

○現在の学校（学区）の登下校に関する記述

・現在も遠くから通学している児童生徒がいる。スクールバスの運行を。　５件（荒未）（逢籍）
・現在でも通学に苦労している児童生徒がいる。　１件（逢未）
・通学のためのインフラ整備が必要である。　１件（亘中）
・徒歩１５分から２０分の児童生徒はバスを利用させたい。　１件（荒中）

○施設・設備に関する記述

・校舎の老朽化対策（改修）を。トイレの整備を。　１３件（亘未）（亘籍）（逢籍）（亘中）（逢中）

・ネットワーク環境を整えて家庭でもできるように。　1件（高籍）
・デジタルの活用。屋内のプール。　1件（逢籍）
・施設は防災拠点となる。閉校したらどうなるのか。　2件（長籍）（逢籍）
・逢隈小・中の体育館の建て直しを。　1件（逢籍）

○その他の記述

・新しく建替えた学校は意味があるのか。　2件（亘中）
・十分な生徒数を見込んで引っ越ししてきた。少人数の学校があってびっくり。　1件（逢未）
・子どもの数が減っているのに子供会加入強制はおかしい。　1件（吉籍）
・教員の負担を減らす取組を。　2件（逢未）（逢籍）
・特認校は残してほしい。学区に関係なく通える学校はありがたい。　3件（逢籍）（高籍）
・特認校はいじめ対応で残してほしい。　1件（逢籍）
・特認校は小中一貫校にすべき。　1件（逢籍）
・学習を個別に教えてくれる制度に。　1件（逢籍）
・学力が第一。学校間でランキングし生徒が選ぶようにしたらいい。　1件（逢籍）
・今の現状でクラスに一人の担任では無理。2人体制にする。　2件（逢籍）（逢中）
・高屋小学校の存続を希望する。　5件（高籍）
・他の学区から高屋小へ通学できるのにその反対がないのはおかしい。　1件（高籍）
・亘理中学校の立地が悪い。　2件（高未）（亘中）
・学校が多すぎる。　1件（吉中）
・統合は必要だが学校独自の文化がなくなる。　1件（吉中）
・心のケアに取り組んでほしい。　1件（吉中）

Ⅳ 主な記述に対する回答

（１）少人数による学級編制・町独自の学級編制・児童生徒数による学級編制

公立義務教育諸学校の学級編制は「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」により学級編制の標準が示されており，これに則って学級編制をするため，２５人や３０人，地域の実態に応じて等で編制することはできません。

教員の定数（各学校に教員を何人配置できるか）は学級数によって決まっており、指導方法の工夫を図るなど，学校毎の取組によって加配（プラス）されることがあるが，一つの教室に教員２人を担任として配置することは物理的にできません。

通常学級においては，小１及び小２は３５人で１学級編制（次年度以降小学校は１学年ずつ３５人編制に移行するがそれまでは４０人編制），中学校は１年生が３５人編制（宮城県の特例）で，２・３年生は４０人編制です。なお，特別支援学級や複式学級の編制基準も別に示されています。

（２）教員の人数を増やす

教員の人数（定数）は学級数により決まっています。

定数以外に，一つの学級を２つに分けて指導する場合や通級に係る指導等で教員の人数が増えますが、これは加配と呼ばれます。

多くの加配教員がいれば様々な子どもたちに対応することや、きめ細やかな指導が可能になりますが，加配される教員の数は減少傾向にあり，更に目的以外に教員を活用することはできません。傾向として，児童生徒数の多い学校に加配教員が多く配当されています。

（３）小中一貫校

施設の形態によって小中一貫校は以下のように分けられます。

・同じ施設（敷地）に小学校と中学校がある。

・小学校と中学校が隣り合わせにある。

・小学校と中学校が離れた場所にある。

いずれも，教育目標や教育課程に一貫性を持たせますが，実際的な教育活動には違い（物理的環境による差）が見られます。

・小中の教員が一体となって教育（授業）を行う。（同じ施設）

・学校行事等を小中合同で開催する（隣接）

・連携を図りながら教育活動を推進する（離れた場所）

などになります。

保護者が小中一貫校に抱くイメージは閖上義務教育学校だと思われます。同じ敷地に小・中学校があり，９年間を見通した教育活動の展開…。町内のいずれかの場所に同様の学校を新築するとなると，莫大な経費がかかります。また，児童生徒減少に対する策としては

大いに疑問が残るところであります。
本町では，小・中連携事業として，中学校区で授業を見合う，情報交換をする，中学校の教員が小学校に出向いて授業をするなどの取組を行っているところです。

※ 義務教育学校：同一施設の中に，いわゆる小学校と中学校がある形態ですが，小学校６年・中学校３年と区切らず，前期・中期・後期などと分けたり１年生から９年生とで分けたりして教育活動が展開できます。９年間同じ子どもたちと過ごすという側面があります。なお，校長は一人。

（4）教員の人数を増やす

教員の人数（定数）は学級数により決まっています。
定数以外に，一つの学級を２つに分けて指導する場合や通級に係る指導等で教員の人数が増えますが、これは加配と呼ばれます。
多くの加配教員がいれば様々な子どもたちに対応することが可能になりますが，その数も限られており，更に目的以外に教員を活用することはできません。市町村教育委員会には学校の状況に応じて教員の数を増やす権限はありません。
また，教員免許を所持していなければ授業を行うことはできず、町の会計年度任用職員は教員の補助をする立場にいます。

（5）行きたい学校に行けるようにする・学校選択制

児童生徒が入学すべき学校は市町村の教育委員会が指定します。（学校教育法施行令第５条第２項）その際，指定が恣意的に行われたり，不公平感を与えたりすることのないように，あらかじめ地域の実情や地理的条件を考慮して通学区域（学区）が決められています。
学校選択制は「自由」「ブロック」「特認校」等の種別があり，本町では高屋小学校と荒浜中学校が特認校としての選択制をとっています。
児童生徒や保護者の希望通りに町内の学校から行きたい学校を選ぶ自由選択性は，既存の学校施設のキャパシティに限りがあることから実施は困難であります。また，いたずらに学校間の競争や不公平感を生み出すことになり，公立学校の目的から大きく逸脱することになります。
いじめや通学距離の問題で指定された学校に通うことが必ずしも保護者の意向に合わない場合は保護者の申し立てにより指定する学校を変更することはできます。

（6）学校に芸術・文化・スポーツなどの特色をもたせる

教育基本法第５条には，保護する子どもに義務教育として普通教育を受けさせることと普通教育の内容が定められています。普通教育は，「各個人の有する能力を伸ばしつつ社会において自立的に生きる基礎を培うこと」を内容としています。
普通教育の対義は専門教育となりますが，これは高等学校から実施されるものです。（も

ちろん普通科の高校では普通教育）

中学校における教育課程（学ぶ教科やその時数）の基準は学習指導要領に示されており，この範囲の中で特色を持たせることはできますが，専門教育を行うことはできません。

（7）町内の学校の児童生徒数を平準化する

児童生徒数の多い学校から少ない学校へ児童生徒を移して児童生徒数を平準化することは，学校施設のキャパシティの面で実施は不可能であります。下足箱から始まって，普通教室や特別教室の数，トイレや蛇口の数…。もちろん普通教室の大きさも違います。

受け入れるために施設を新しくすることはあまりにも非効率的であり，町全体の児童生徒数の減少に対応するための対策としては非現実的であると考えます。

（8）人数が多くなるといじめが起こる（起こりやすい）

児童生徒数が多くなるといじめの認知件数が多くなるという報告はありません。学年別では小学校１年生及び２年生のいじめの認知件数が多いことははっきりしています。

子どもの行為をいじめと認知するか否か，報告するかしないかの違いでしかありません。（水を飲むために並んでいたら友達が横から入ってきた：これをいじめと認知して報告するかしないかの違い）

いじめはどの学校のどの学年の子どもたちの中にでも起こりうるということは，全ての学校の教員が認識しているところであり，要はいじめを認知した後の対応であると考えます。